

授業動画 03:
「多種多様なキシロカイン、薬剤間違いに注意」

それじゃ、今日の授業はこれでおしまいです。また逢える事を楽しみにしています。

おおかわむら...

チェック！ミニテスト

キシロカインについて間違っているのはどれ？

- ☐ キシロカインには抗不整脈作用と局所麻酔作用の注射薬がある
- ☐ 胃腸麻酔用のキシロカインの濃度は1%である
- ☐ キシロカインEは、ピタニシEの入ったキシロカインである

回答する

■事例

■事例

■事例

授業動画 03:
「多種多様なキシロカイン、薬剤間違いに注意」

不合格！
ペンペン

不合格
(単位認定せず)

残念ながら本講義の単位は認定されませんでした。
今すぐもう一度受講する事が出来ます。

再受講しますか？

はい いいえ

■事例

■事例

授業動画 03: (補助教材)
「多種多様なキシロカイン、薬剤間違いに注意」



「キシロカイン」の製剤写真1



「キシロカイン」の製剤写真2

授業動画 03: (補助教材)
「多種多様なキシロカイン、薬剤間違いに注意」



「キシロカイン」の製剤写真3



「キシロカイン」の製剤写真4

事例 1

心筋梗塞の患者さんに2%キシロカインの静注を準備するように言われた。抗不整脈薬の静注用キシロカインのことを知らず、大きなバイアルのキシロカインをシリンジに吸ったが、先輩の看護師から指摘され、それが局所麻酔用であることを初めて知った。

事例 2

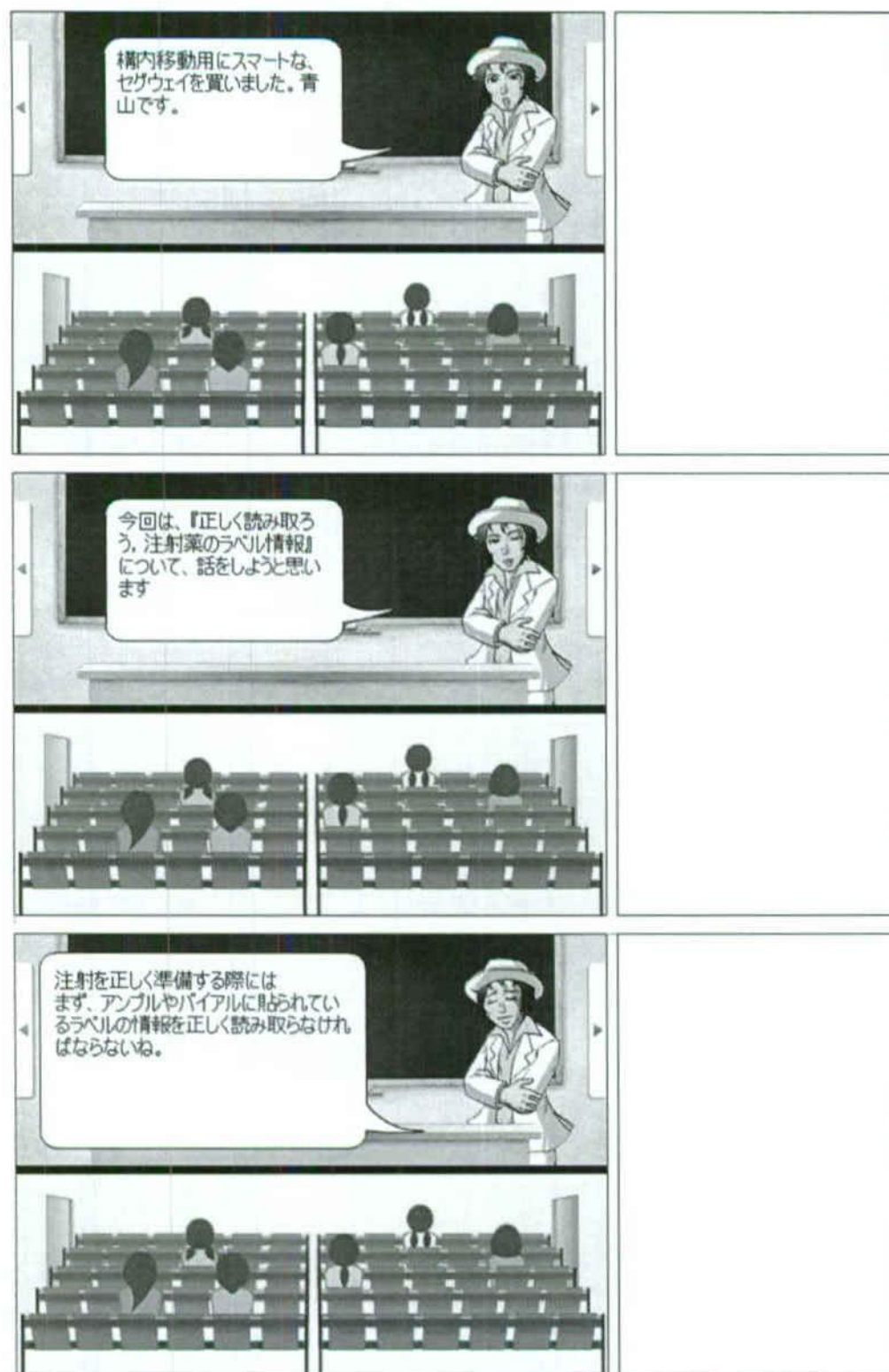
不整脈が多発する整形外科患者さんに循環器医師より2%キシロカイン5mlの側管注を指示された。不整脈になぜ局所麻酔のキシロカインを使うのだろうと考えながら、1%キシロカインしかなかったので2%5mlと内容量を同じにするために10mlの局麻用の1%キシロカインを準備した。

事例 3

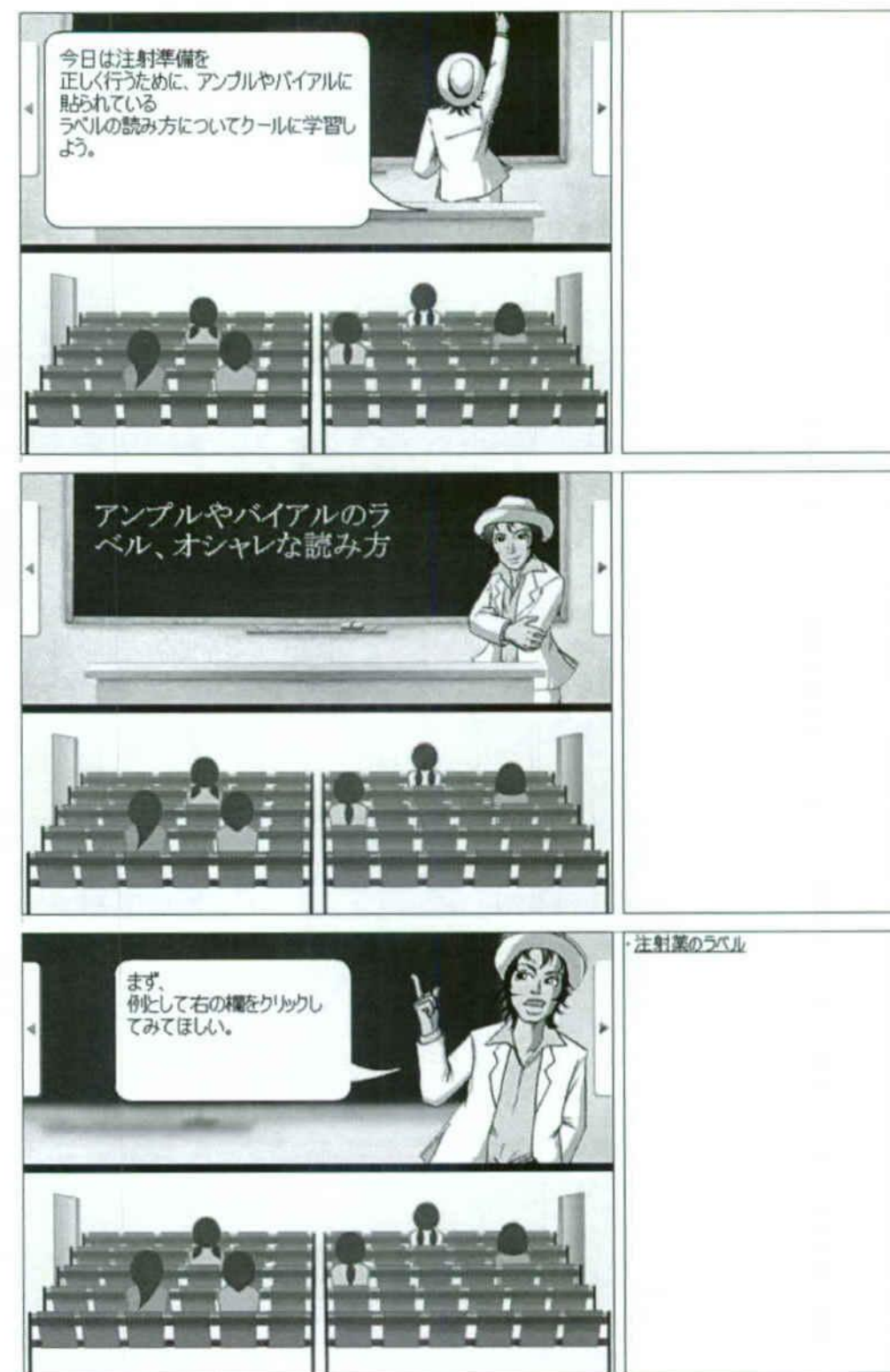
手術室で指示された脊椎麻酔用の3%キシロカインを医師に渡そうとして、見たら2%キシロカインだった。



授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」



授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」



・注射薬のラベル

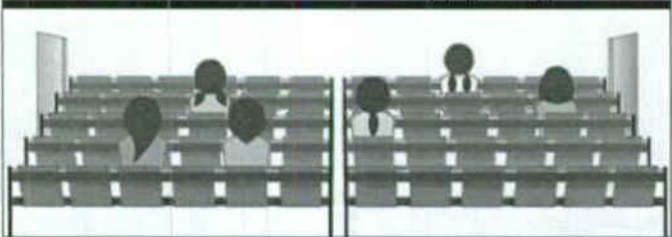
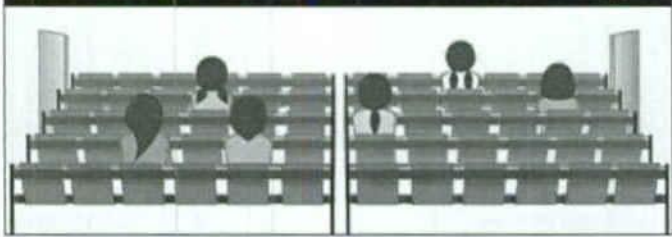
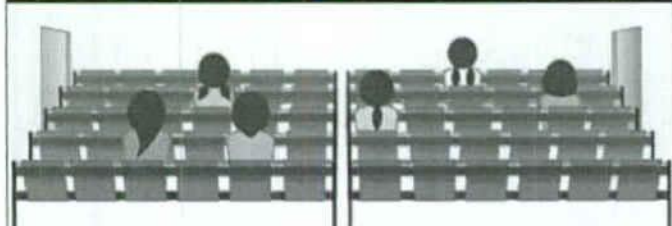
授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

	・注射薬のラベル
	・注射薬のラベル
	・注射薬のラベル

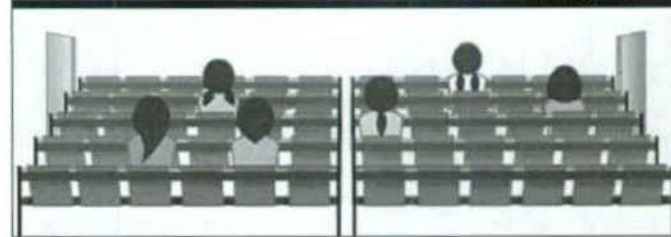
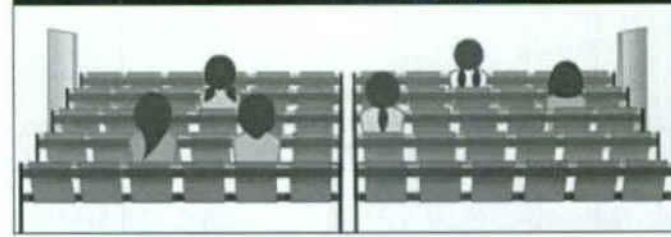
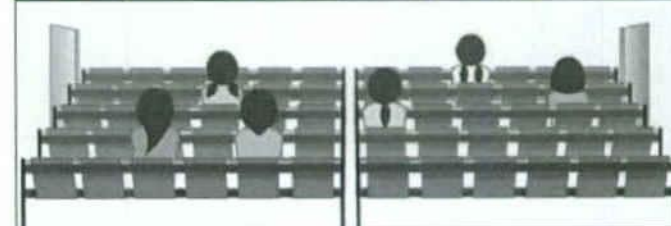
授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

	・注射薬のラベル
	・注射薬のラベル
	・注射薬のラベル

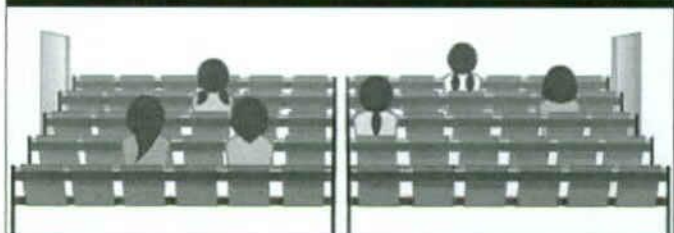
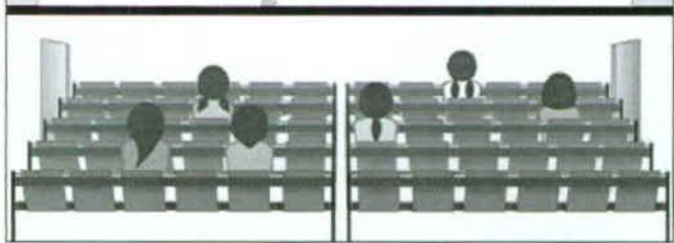
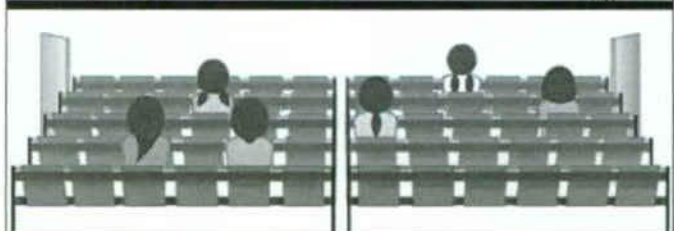
授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

 商品名には、登録商標を意味する®がつけられることもあるんだ。	・注射薬のラベル
	
 ‘xyz’が一般名。一般名とは、薬物の一般的な名称のことで、日本薬局方(医薬品の規格書ともいうべき公的文書)の名称のほか、WHOが決めた国際的な名称のことさ。	・注射薬のラベル
	
 国際的な点がなかなかクールだね。	・注射薬のラベル
	

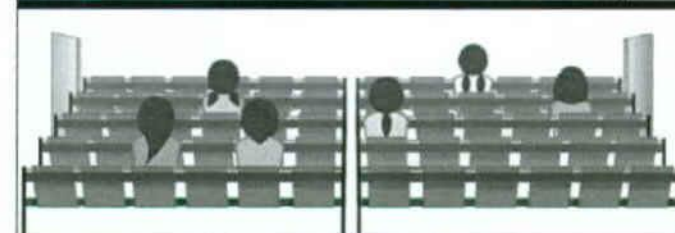
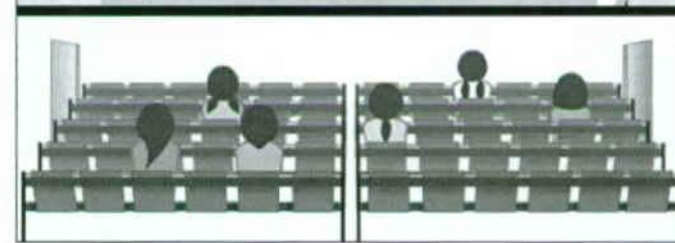
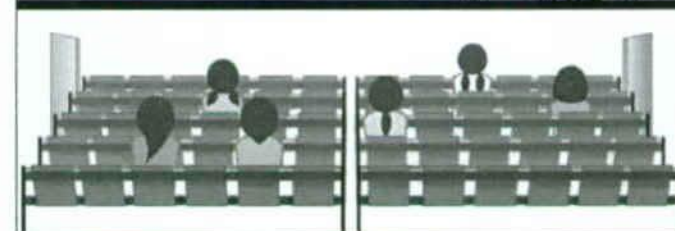
授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

 服のブランドではあり得ない事だけど、薬剤の世界では、一般名の同じ薬剤が複数の製薬企業から別の商品名で販売されているんだ。	・注射薬のラベル
	
 医師の薬剤の指示は通常、商品名で行われているから、まず商品名をしっかりと確認するのがスマート。	・注射薬のラベル
	
 注射薬によっては、一般名がラベルに書かれていないこともあるから注意が必要だ。	・注射薬のラベル
	

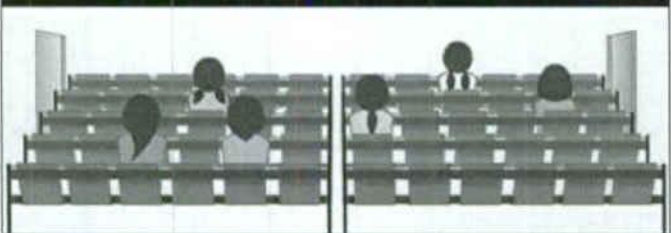
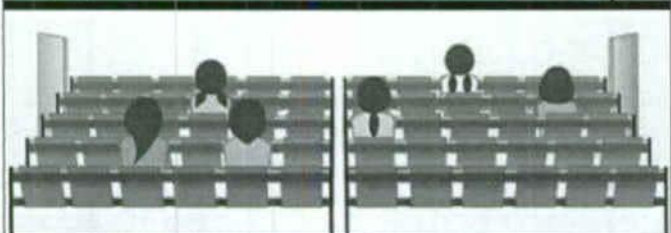
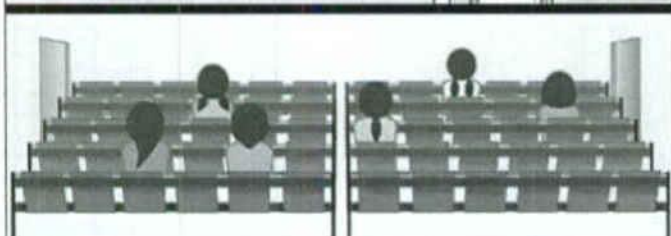
授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

それじゃあこの、右欄の注射薬のアンプルに含まれる薬効成分量は何mgだろう？	・注射薬のラベル
	
Q.問題 この注射薬のアンプルに含まれる薬効成分量は？ A 10mg B 20mg C 10 / 2mg	・注射薬のラベル
	
正解！	・注射薬のラベル
	

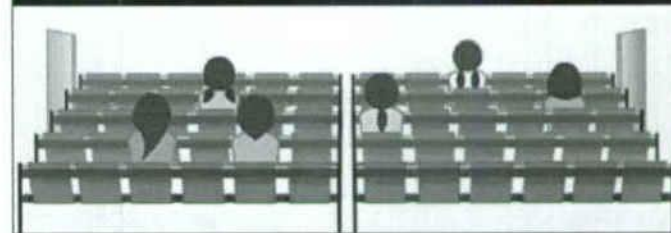
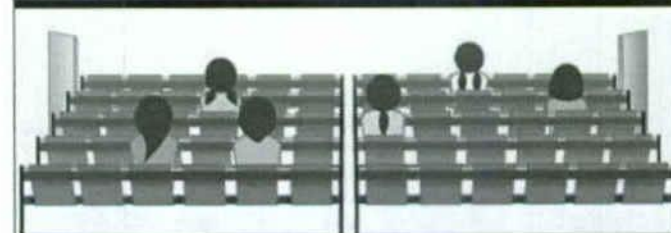
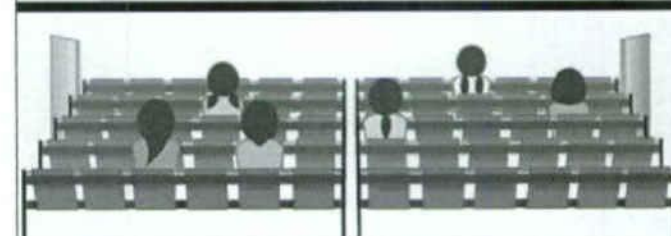
授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

最もクールな答えはAの「10mg」。	・注射薬のラベル
	
液状の注射薬の規格は「△mg/○ml」などのように書かれている。	・注射薬のラベル
	
△mgは主薬の薬効成分の量で、○mlは薬効成分を溶かしている溶液の量なんだ。	・注射薬のラベル
	

授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

医師は通常、薬効成分の量で指示するから、看護師はその際この規格を見て、指示量がどのくらいの液量に相当するかを換算しなければならない。 	・注射薬のラベル
	
一方、粉末状の注射薬は主薬の薬効成分量のみの記載だから、混同しないよう気をつけるのがクールさ。 	・注射薬のラベル
	
右欄のこの注射薬で、できない投与方法は何だろう？ 	・注射薬のラベル
	

授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

Q.問題 この注射薬で、できない投与方法はどれ？ A ワンショット静注(急速静注) B 点滴静注 C 筋注 	・注射薬のラベル
	
不正解！ 	・注射薬のラベル
	
答えはスマートなC。 	・注射薬のラベル
	

授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

ラベルには「静、点静」と書いてある。これは投与方法としては「静注と点滴静注のみ」という意味なんだ。	・注射薬のラベル
筋注や皮下注もOKなら、「筋」「皮下」と書かれる。	・注射薬のラベル
Q.問題 この注射薬の規制区分は？ A 劇薬 B 毒薬、向精神薬 C 劇薬、向精神薬	・注射薬のラベル

授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

正解！	・注射薬のラベル
クールな答えは、Cの「劇薬、向精神薬」さ。	・注射薬のラベル
薬剤は、薬理作用や危険性のレベルから毒薬、劇薬、普通薬に分類されているね。	・注射薬のラベル

授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

	・注射薬のラベル
	・注射薬のラベル
	・毒薬

授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

	・毒薬
	・毒薬
	・毒薬

授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

そのほか、ラベルには「遮光」「冷所保存」など保存上の注意と、製造(輸入販売)業者の住所、製造番号、使用期限などが記載されている。	・毒薬
これまで述べてきたラベルの情報の中で、注射事故防止上重要なものは「商品名(販売名)」「規格」「劇薬、毒薬の規制区分」および「用法」だ。	・毒薬
「商品名(販売名)」「規格」「劇薬、毒薬の規制区分」「用法」を	・毒薬

授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

これら4点を指差呼称でしっかり確認して注射の準備を行うんだ。 想像してごらん？ ほら、クールだろう？	・毒薬
Q.問題 YOUならできるね？ A はい B いいえ	・毒薬
注射薬のラベルに関連するケースとして、このような事例がある。	・毒薬

授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

	■事例
	■事例
	■事例

授業動画 04:
「正しく読み取ろう、注射薬のラベル情報」

	■事例
	■事例
	■事例



注射薬のラベル

毒薬

毒性が強い医薬品を厚生労働大臣が毒薬として法令で指定する。毒薬は黒地に白枠、白字をもって、その品名及び「毒」の文字が記載されていなければならない。また、その保管に際しては、施設できる場所に他の物と区別して貯蔵および陳列しなければならないことが薬事法で定められている。



毒薬

事例 1

臨時注射を保管ケースから出す際に2種類の規格があることを知らず、ラベルで内容量も確かめなかった。指示は50mgであったが、100mgのアンプルを準備した。

事例 2

手術室で全身麻酔の際、マスキュラックス1mg静注の指示があったが、誤って1アンプル(4mg)を静注してしまった。1アンプルが1mgと思いこんでいて、ラベルを確かめなかった。

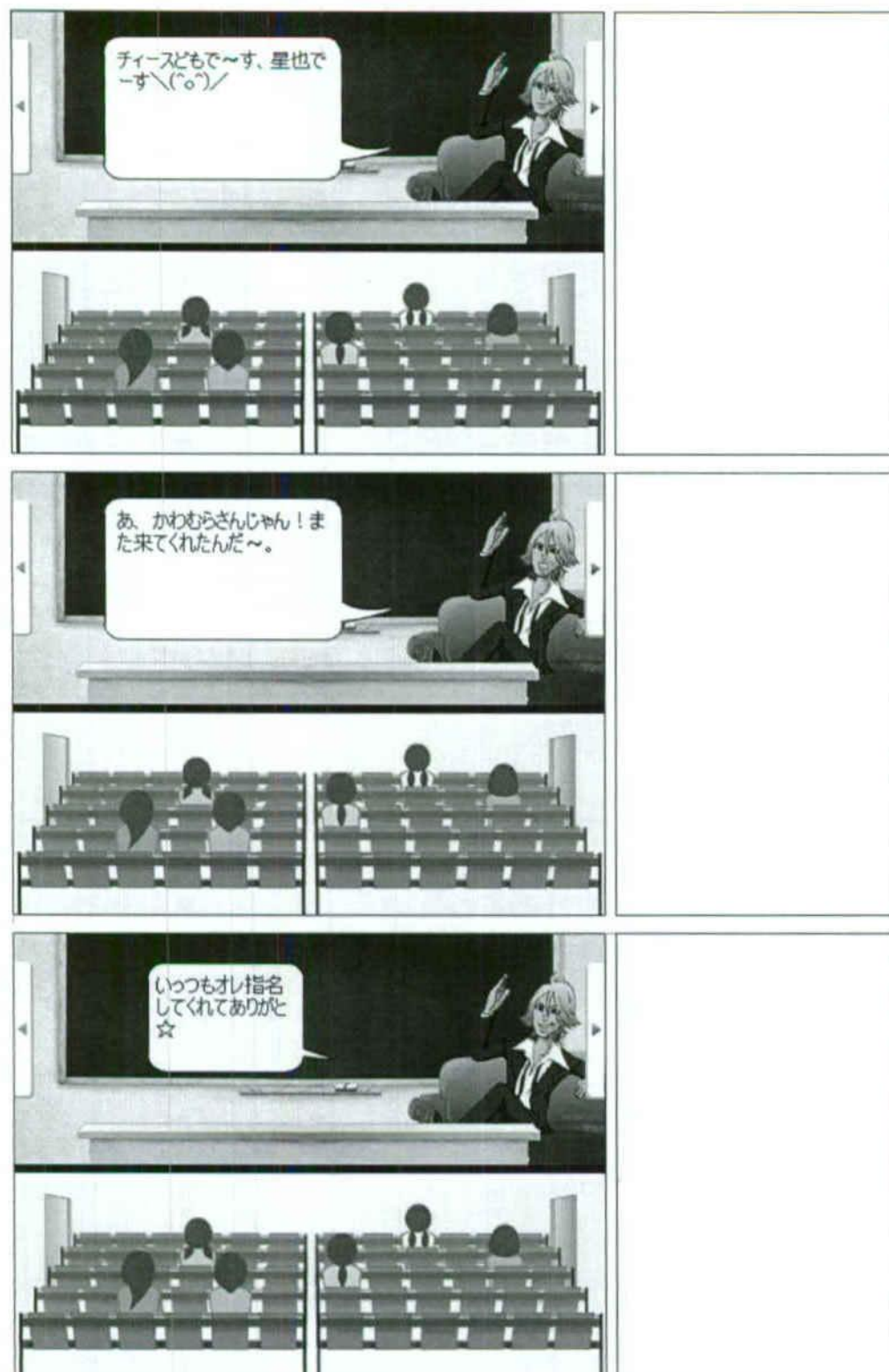
事例 3

不穏患者に生食100mlにロヒブノール1アンプルを混注して点滴するように指示されたが、間違ってフェノバル1アンプルを生食に混注した。空アンプルを捨てるとき、フェノバルの投与方法が筋注と書かれているのを不思議に思い、指示書を見直すとロヒブノールであることに気づいた。



■ 事例

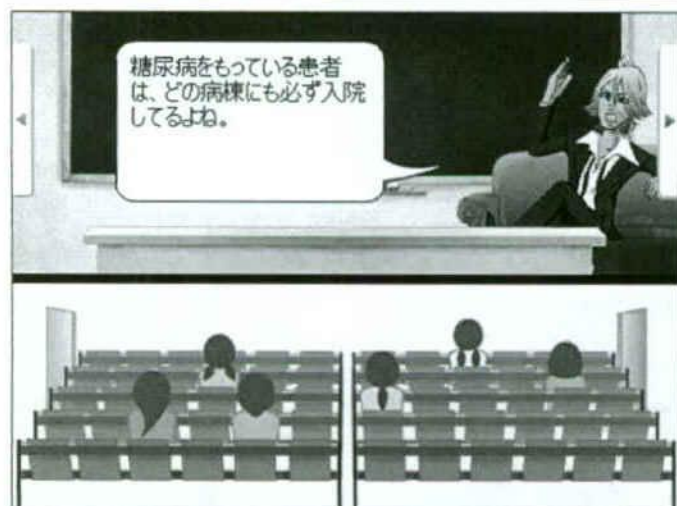
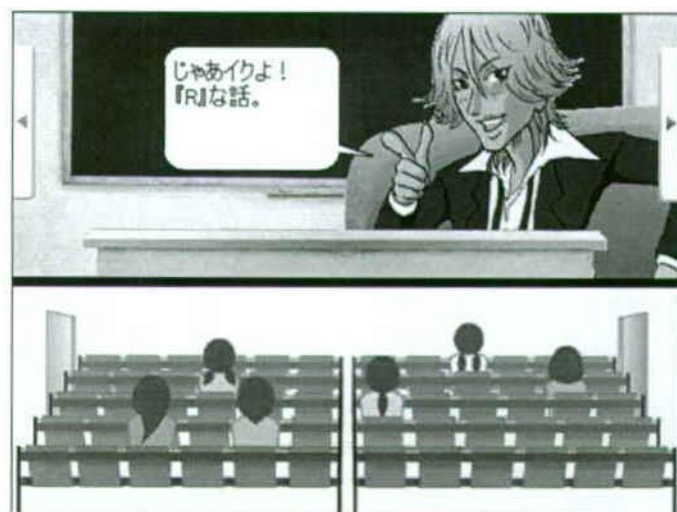
授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」



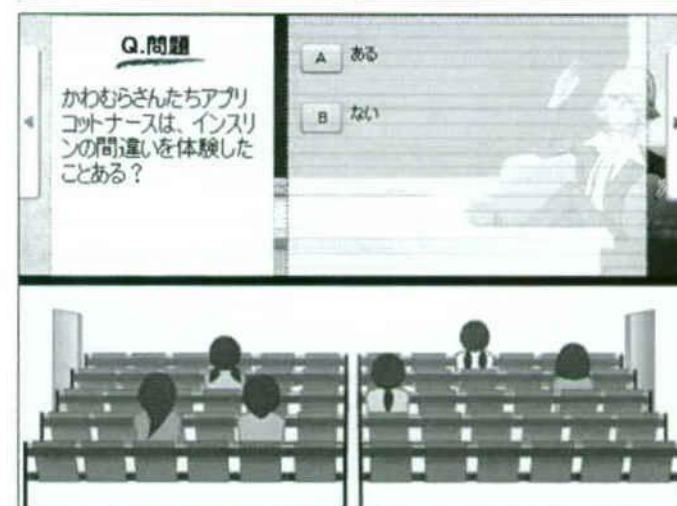
授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」



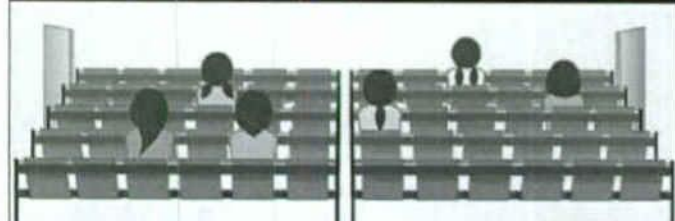
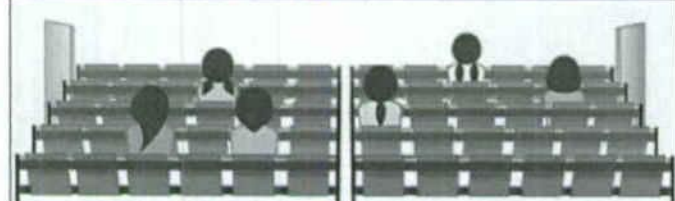
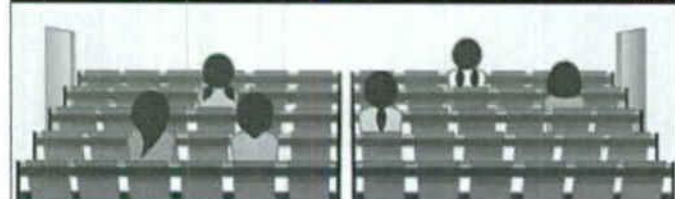
授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」



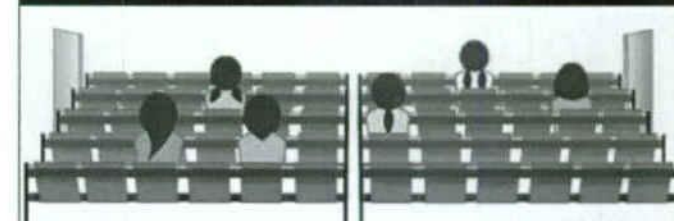
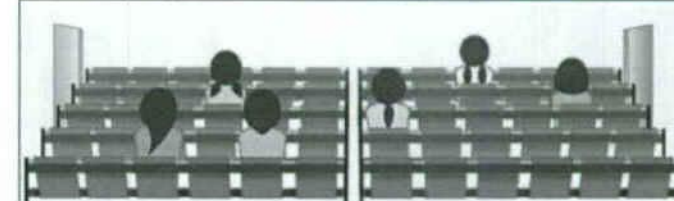
授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」



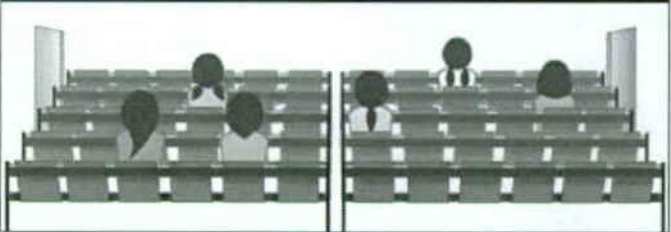
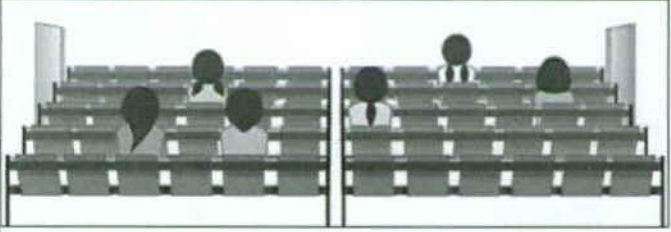
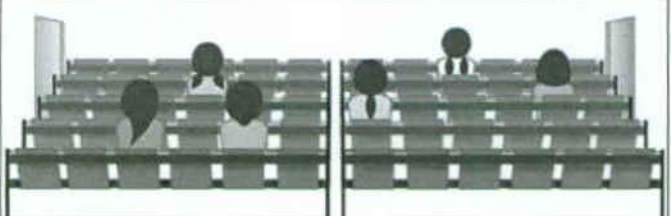
授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」

 まず右のトコをクリックして さ、事例1と2を見てみて。 	■事例1と2
 この事例はさ、高カロリー輸 液に混注するインスリン製 剤の種類を間違っちゃった ものなんだ。 	■事例1と2
 じゃあさ、輸液の中に混注 できる、つまり静脈内投与 ができるインスリン製剤の名 称の語尾ってなんだっけ？ 	■事例1と2

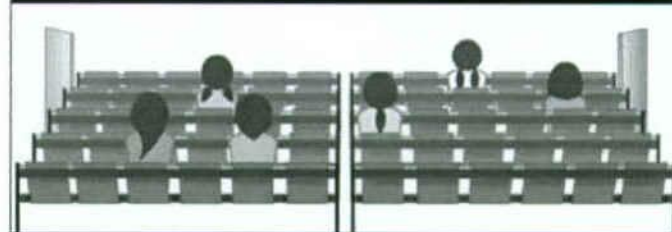
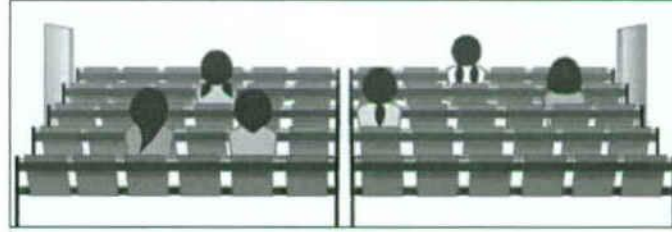
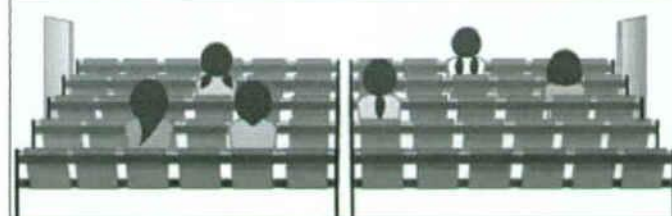
授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」

 かわもらさん、 俺の耳元でささやいてくん ない？ 	■事例1と2
Q.問題 静脈内投与ができるイ ンスリン製剤の名称の 語尾は？ ☐ A N ☐ B R ☐ C 30R 	■事例1と2
 不正解！ 	■事例1と2

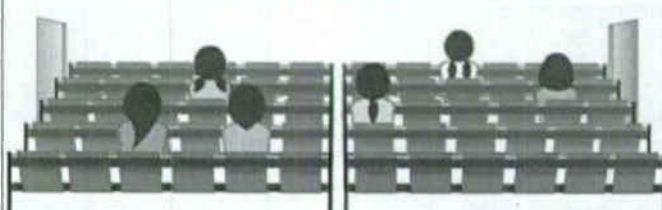
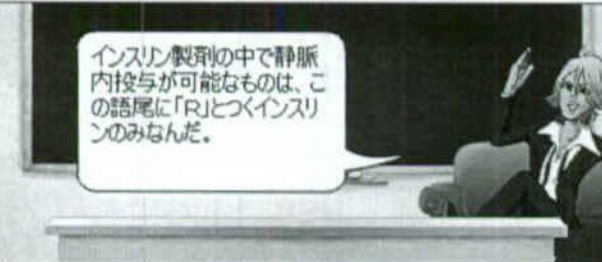
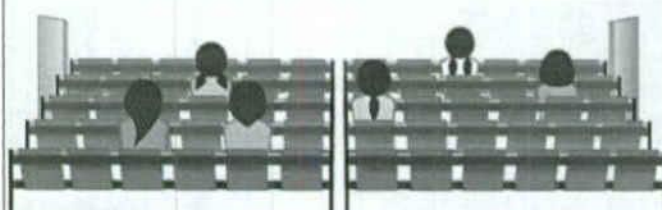
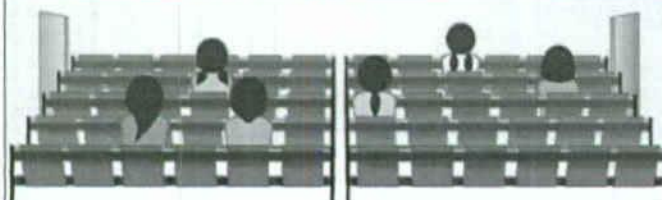
授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」

 ABCで言ったら、答えはもちろんBの「R」だよ。	■事例1と2
	
 インスリン製剤は作用の現れる時間、ピークの時間、持続時間の異なる5種に分類されてるんだ。	■事例1と2
	
 メーカーによってインスリン製剤の名称はいろいろだけど、語尾の文字がこの分類と関係してるってワケ。	■事例1と2
	

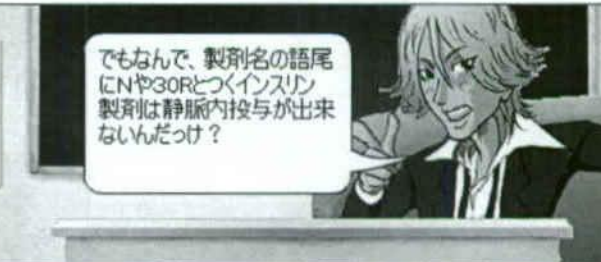
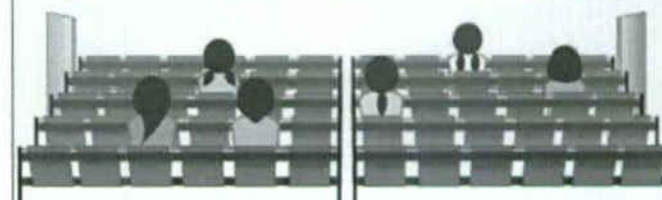
授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」

 「R」は「regularインスリン」の略で速効型インスリンのことなんだ。	■事例1と2
	
 「R指定」の「R」じゃないから注意してね。	■事例1と2
	
 ちなみにこれって、オレやかわむらさんの身体の中で、膵臓から分泌されているインスリンと同じものなんだよ？	■事例1と2
	

授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」

 なんか「R」な感じ、するよね？	■事例1と2
	
 インスリン製剤の中で静脈内投与が可能なものは、この語尾に「R」とつくインスリンのみなんだ。	■事例1と2
	
 糖尿病性昏睡の患者さんの治療や高カロリー輸液の患者の高血糖を抑えるために、	■事例1と2
	

授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」

 輸液に混注したり、ポンプを使ったりして、静脈内に投与されるんだって。	■事例1と2
	
 でもなんで、製剤名の語尾にNや30Rとつくインスリン製剤は静脈内投与が出来ないんだっけ？	■事例1と2
	
 かわむらさん、俺にだけ教えて教えて☆	■事例1と2
	

授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」

Q.問題 Nや30Rなどが静脈投与できないのは？ A 製剤に含まれる添加物が血液のpHを変化させる B 製剤に含まれる添加物が溶血を起こす C 製剤に含まれる結晶が細い血管を閉塞させるから	■事例1と2
不正解！	■事例1と2
答えはCの「製剤に含まれる結晶が毛細血管を閉塞させるから」だよ。	■事例1と2

授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」

「N」は、NPHインスリンの略で中間型に分類されるインスリンじゃん。	■事例1と2
「regularインスリン」にプロタミンというタンパク質を加えて中性にして結晶化させたものなんだから。	■事例1と2
皮下注すると、皮下で結晶がとけてゆっくり吸収されるから、速効型の「regularインスリン」よりも、作用が遅く現れて長く持続するんだ。	■事例1と2

授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」

「N」とつくインスリンが静脈内に投与できないのは結晶のために細い血管を詰まらせる危険があるからなワケ。	■事例1と2
	■事例1と2
「30R」というのは、「regularインスリン」を30%、「NPHインスリン」を70%混合したもので混合型インスリンに分類されてるんだ。	■事例1と2

授業動画 06:
「なんで「R」なの？高カロリー輸液に入れるインスリン」

これは両者の作用の特性をあわせもったインスリン！	■事例1と2
コイツも「N」が含まれているから、静脈内に絶対投与しちゃダメ。	■事例1と2
Q.問題 これで、高カロリー輸液に混注可能なインスリンがどうして、語尾に「R」とつく速効型インスリンでなければいけないかがわかったっしょ？ A はい B いいえ	■事例1と2